



今号の主な内容

- 緊急時における応援協定を結んでいます.....②
- 越谷しらこぼと基金助成事業を募集.....②
- 地域包括支援センターが移転します.....③
- 越谷市体育賞受賞者発表.....⑥
- 高齢者講習制度が変わります.....⑦



油長内蔵の前で寄贈式が行われました

蔵をまちのシンボルに



協定書にサインする
高橋市長(中央)と
品川社長(右)

本市の中心市街地である旧日光街道沿いは、かつて宿場町でした。現在も蔵や古民家が残る、古い町並みが形成されています。しかし、所有者の高齢化や開発の進行に伴い、昔の面影を残す建物や町並みの存続が困難になってきており、歴史的景観が失われつつあります。

「油長内蔵」が寄贈される

また同日、(株)中央住宅から蔵のあるまちづくりの象徴となる「油長内蔵」が市に寄贈されました。この蔵の元所有者がかつて油商を営んでいたときの屋号が「油長」であったことから、油長内蔵と呼ばれる予定です。この内蔵は、平成27年9月に本市初となる景観協定を市と締結した同社が、中心市街地の住宅開発を行う際に開発地内に残っていた内蔵を曳家で移設し、内外装を現代的に修繕したものです。

今後、協定に基づき、蔵をまちづくりの新たな拠点として利用しながら地域の活性化や住環境の向上に取り組み、地域の特性に応じた魅力あるまちづくりを進めていきます。

国土産業支援課 ☎967-4680

まちづくりについての基本協定を締結 中心市街地に 新たなにぎわいを



4月1日 病児保育室を開設

働きながら子育てしている家庭をサポート

市では、4月1日に病児保育室を開設します。病児保育室は、お子さんが病気や病気が回復に向かっている間、保護者がどうしても仕事を休むことができない場合に、お子さんを一時的に預かる施設です。

〈利用料〉 1日2000円
(生活保護世帯等は無料)
〈申込み〉 病児保育室または子ども育成課で、事前登録が必要

病後児保育室は
3月31日に閉室

〈場所〉 レイクタウン6の11の3(みずべこどもの家保育園内)
〈利用日時〉 月曜～金曜日(祝日および12月29日～1月3日を除く)、午前8時～午後6時(4月1日(土)・2日(日)は、休日のためお休みです)
〈対象〉 次のすべてに該当するお子さん▽市内在住で、利用日に生後3カ月～小学3年生のお子さん▽病気の治療中または病気の回復期にあり、保育所等での集団保育は適当ではないが、かかりつけ医が病児保育の利用を認めたお子さん
〈定員〉 1日5人まで



緊急通報装置を貸し出しています

日常生活における緊急時の安全の確保と不安の解消を図ることを目的に、発作症状を伴う疾患がある1人暮らし等の高齢者に、緊急通報センターにつながる専用の緊急通報装置を貸し出しています。

この装置にある緊急ボタンを押すと、民間の緊急通報センターにつながります。緊急通報センターで話を聞き、

緊急性があると判断した場合や応答がない場合は、緊急通報センターから消防署に連絡し、救急隊が出勤します。
〈対象〉 次の①～③のすべてに該当し、④のいずれかに該当する方▽すべてに該当：①市内に住所を有し、居住している方 ②住居に電話回線および固定電話機をお持ちの65歳以上の方 ③市民税非課税世帯に属する方▽いずれかに該当：④発作症状を伴う疾患がある1人暮らしの高齢者 ④発作症状を伴う疾患がある者を含む高齢者のみの世帯員
〒9163 閩地域包括総合支援センター ☎963